

職業安定局

働く未来を切り拓く
就労支援の最前線

Our Mission...

雇用のセーフティネットとして、全国500箇所以上のハローワークを通じて、①全国ネットワークを活用した職業紹介、②失業時の所得保障を行う雇用保険制度、③多様な人材の活躍に向けた雇用対策を一体的に実施することで、働く方一人ひとりが自分の未来を自ら創っていくことのできる、意欲ある方々に多様なチャンスを生み出す社会を実現します。

部局の所掌分野

全国規模の職業紹介

ハローワークにおいて、求職者と求人者双方に対するきめ細かな職業相談・職業紹介等を行うことにより、そのマッチングを図っています。

雇用保険制度の運営

生活・雇用の安定と就職促進のため、失業された方や育児・介護休業を取得された方、教育訓練を受けられる方等に失業等給付等を支給しています。

雇用対策の企画立案

完全失業率、有効求人倍率等の雇用指標の動向を分析し、効果的かつ機動的に雇用対策を企画立案・実施しています。

多様な人材の活躍促進

高齢者や障害のある方など、就労にあたって何らかの困難がある方を支援するとともに、外国人材を受け入れる環境を整備することで、多様な人材の活躍を促進しています。

労働市場のルールづくり

民間企業等の力を活かしつつ、求職者と求人者のマッチングを適切・円滑に進めるため、労働者派遣、職業紹介に関するルールづくりを行っています。

ハローワークの就職支援サービスを強化する

年度平均の有効求職者数190万人、有効求人数250万人（新規求人約9割が100人未満企業）もののマッチングを行っているハローワークは、仕事に就こうとしている方の就職実現や、企業の人材確保を支える国内最大の公的職業紹介機関です。

オンラインで求人情報等を閲覧できるハローワークインターネットサービスも充実させており、月間アクセス件数7千万件を誇ります。

生産年齢人口（15～64歳）が減少傾向で多くの企業が人手不足に直面する一方、DXを含む産業構造の転換も進む中、ハローワークの役割は重要です。

リ・スキリングの勧奨を含むキャリアコンサルティング機能の向上や、AIを活用した業務の効率化・DX化の検討も進め、ハローワークの就職支援サービスを一層強化していきます。

生涯現役社会を実現する

人生100年ともいわれる時代において、高齢者の体力的な若返りが進む中、働く意欲のある高齢者の方が、年齢にかかわらず働くことができる「生涯現役社会」の実現を目指すことが重要です。

定年延長や定年の廃止など高齢者の安定した雇用・就業機会の確保に取り組む企業への支援や、全国の主要なハローワークに設けた高齢者専門の相談窓口によるきめ細やかな再就職支援を行っているほか、シルバー人材センター事業の実施を通じて高齢者の生きがいの充実、地域貢献を支援しています。



▲ 高齢者活躍企業コンテスト

円滑な労働移動を進める

急速な少子高齢化の進展に伴い、中長期的に我が国の人口は減少し、労働力人口も減少する見通しです。一方、足下の労働市場では人手不足の状況が顕在化しています。このため、経済成長を実現し、必要な社会経済活動を維持するための労働力確保は喫緊の課題です。

個々の企業の実態に応じたジョブ型人事の導入、リ・スキリングによる能力向上支援、労働移動の円滑化といった三位一体の労働市場改革を進めています。

例えば、円滑な労働移動を進めるため、様々な職業の仕事内容や必要なスキルなどを検索できる職業情報提供サイト（job tag）等の運営を通じて、労働市場情報の「見える化」を推進しています。



▲ job tagトップ画面

Hot Topics

能登地域の雇用対策

2024年1月の地震や9月の豪雨の影響により、能登地域の観光産業等の事業所の多くが休業を余儀なくされました。

厚生労働省では、まずは休業支援を強化するとともに、県や事業主の方々とも意見交換を行い、企業の雇用維持と地域の人材確保の観点から、被害のあった企業との雇用関係を維持したまま、他の企業に出向して働く場合の助成金を創設するなどの雇用対策を進めています。



▲ 企業向け在籍出向リーフレット

障害者雇用の促進

障害のある方がその能力と適性に応じた雇用の場に就き、一人ひとりが活躍できる社会の実現を目指し、障害者雇用の促進をしています。障害のある雇用者数は約20年連続で過去最高を更新するなど堅調に増加していますが、昨年（2024年）新たに、今後の制度の在り方に関する研究会を立ち上げる等、更なる雇用促進に向けて検討が続いています。



▲ 障害者雇用支援月間のポスター